

次代を担う子どもたちの生きる力を育み、交流が



1 教育環境を充実し、家庭や地域との連携を図る

子どもたちの個性を伸ばし社会性を育む教育を目指し、教育内容や教育環境の充実とともに、家庭での教育力の向上を推進します。また、地域の人材等を活用した教育や社会活動体験の充実、特別支援教育の充実などを進めます。

施策の体系

(1) 家庭や地域と連携した学校教育の充実	(2) ところとからだの健康教育
(3) 学校教育環境の整備・充実	(4) 放課後児童対策の実施

10年後の姿

- ・全小中学校で放課後子ども教室が実施され、放課後児童の居場所づくりのほか地域住民との交流が行われています。
- ・学校ボランティア活動への保護者や地域住民の積極的な参加により、学習活動や学習環境が一層充実しています。
- ・全小中学校でバランスのとれた施設が整備されています。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
小中学校の教育内容や教育環境に満足している住民の割合	%	19.3	25.0	30.0
学校ボランティア登録者数	人	151	240	330
中学校不登校生徒割合	%	2.4	1.9	1.7

協働によるまちづくりの考え方

地域住民が、学校行事などに参加することにより地域住民と児童生徒の交流を図ります。学校評議員制度^{注1}及び学校ボランティア登録制度^{注2}を行うことにより、家庭や地域と連携した学校教育の一層の充実を図ります。

次代を担う子どもたちの人間関係を築く力や豊かなこころといった生きる力を育み、能力や個性を伸ばし、地域で活躍する人材を育成できるまちを目指します。また、世代や地域、文化を超えた多様な交流を盛んにするとともに、東郷の歴史や文化にふれあいながら、町に対する愛着を持った町民が活躍するまちを目指します。

2 暮らしを豊かにする生涯学習の機会や場を提供する

生涯にわたり生きがいを持って過ごすことができるように、生涯学習活動の機会や場所の充実とともに、知識・経験を生かしたボランティア活動などの参加機会の充実などを進めます。

施策の体系

(1) 参加しやすい講座の開催	(2) 地域で活躍できる環境づくり
(3) 多様な生涯学習講座の開催	(4) こころの豊かさを育てる機会の充実

10年後の姿

- ・コミュニティセンターなどで生涯学習講座が開催され、子どもから定年退職者、高齢者までが新たな趣味の活動や仲間づくりなどを行い、充実したセカンドライフを送っています。
- ・退職者向けの講師養成講座を開催し、現役時代に習得したノウハウ等を活用・発揮して、退職後も地域に貢献できるようになっています。
- ・講座の受講後も町民同士のふれあい活動やサークル活動が活性化し、学習を通じた交流が盛んになっています。
- ・子どもから高齢者までこころが豊かになる文化芸術の機会にふれあっています。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
教養講座などの生涯学習の機会に満足している町民の割合	%	13.2	19.0	24.0
地域での生涯学習講座の開催数	地区	0	5	10
60歳以上の講師登録者数	人	50	60	70
生涯学習講座の受講者数（1講座当たりの受講者数）	人	16	20	25

協働によるまちづくりの考え方

地域での講座は区・自治会が主体となって開催します。また、行政と連携しながら各地域の町民が希望する講座を開催できるようにします。
退職者が講師となり、町民との協働で講座を開催します。

3 郷土愛や誇りの持てる地域文化を育む

郷土愛や誇りの持てる地域文化を育むため、文化活動への参加機会の充実、文化団体の活動支援、魅力ある文化事業の企画開催、文化財の保全・活用、地域文化の情報発信などを進めます。

施策の体系

(1) 郷土資料館の充実	(2) 文化財保護意識の高揚
(3) 文化財の保存と継承	(4) 文化団体の活動促進

10年後の姿

- ・郷土資料館で企画展を開催することにより、身近な郷土資料の文化財に対する関心が高まり、地域に対する愛着が深まっています。
- ・生涯学習講座や学校教育の中で文化財教育を進め、後継者育成や記憶伝承が行われています。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
文化財の継承・保存に満足している町民の割合	%	12.4	18.0	23.0
町内文化財数	件	25	26	27
文化財めぐり講座の参加人数	人	25	30	30

協働によるまちづくりの考え方

行政が積極的に事業を企画することにより、町民が文化財に関心を持ち、進んで各種事業に参加するようにします。
地域文化の育成に向けて、文化団体と連携しながら、文化活動が活発に行われるように支援します。

4 誰もがスポーツに参加できる環境を整える

誰もがスポーツを通じて健康で元気に暮らせるように、地域で気軽にスポーツを楽しむことができる場や機会の充実、総合型地域スポーツクラブ^{注3}の立ち上げや各種スポーツ団体の育成、本町の特色あるスポーツであるボート競技の振興などを進めます。

施策の体系

(1) 生涯スポーツの推進 (3) 参加しやすい環境づくり	(2) 指導者の育成
----------------------------------	------------

10年後の姿

- ・誰もが気軽に地域でスポーツを楽しんでいます。
- ・子どもから高齢者までが総合型地域スポーツクラブに所属し、様々な競技に参加しています。
- ・誰もがボート競技に親しんでいます。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
定期的にスポーツ・運動をしている市民の割合	%	34.1	40.0	45.0
総合型地域スポーツクラブ種目数	種目	0	1	3
市民レガッタに参加する町内クルー数	クルー	65	75	85

協働によるまちづくりの考え方

地域や既存のスポーツクラブが主体となってスポーツの場を提供し、会費収入により自主運営ができるよう努めます。行政はその活動が軌道に乗るまで指導者や運営費の補助をします。

5 地区・世代間の人々の絆を深める交流を推進する

新旧市民や世代間の交流、地区間の交流を活性化し、地区の絆を深めていくため、協働による各種イベントを充実するとともに、地区独自のお祭りやイベントなど地区ふれあい活動を促進し、コミュニティ意識の醸成などを進めます。

施策の体系

(1) コミュニティ活動の推進と活性化 (3) 市民相互の絆を深める	(2) コミュニティ施設の充実
---------------------------------------	-----------------

10年後の姿

- ・各種お祭りに多くの市民が参加して、新旧市民や世代間、地区間の交流が活性化し、地区の絆が深まっています。
- ・文化産業まつりを始め、市民主体のイベントや地区でのイベントが活発になっています。
- ・地区のお祭りなど伝統的行事や毎年の継続的行事が盛大に行われ、地域住民が活気に満ちた生活をしています。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
地元の行事やお祭りに参加している市民の割合	%	29.8	35.0	40.0
地域で共に助け合い、支え合う風土があると考えている市民の割合	%	23.1	29.0	34.0
文化産業まつり来場者数	人	18,000	19,000	20,000

協働によるまちづくりの考え方

市民が主体となって、協働により活発にイベントを開催します。また、市民から意見等を募り、魅力あるイベントを実施します。

6 多文化の人々が共生できる社会をつくる

町内に在住する外国人と日本人が、互いの文化や風習などを理解し共生できる社会を目指し、国際理解のための啓発活動の推進、外国人向けの日本語学習の支援、国際交流活動の促進、外国人が暮らしやすい環境整備などを進めます。

施策の体系

(1) 多文化共生の推進	(2) 日本語学習支援等の環境づくり
(3) 国際交流の推進	(4) 国際化教育の充実

10年後の姿

- 外国人と日本人がお互いに理解し合い、外国人町民も日本人町民も暮らしやすく、外国人が日本社会の中で活躍しています。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
国際理解・国際交流の推進に満足している町民の割合	%	4.9	10.0	15.0
日本語教室の参加者数	人	35	46	60
外国人支援ボランティア活動者数	人	4	6	9

協働によるまちづくりの考え方

- 日本人に対する異文化理解・多文化共生を進めます。
- 外国人に対する日本語学習支援、日本の慣習・文化理解支援を進めます。

7 青少年の健全な育成を進める

自分自身で学び考え、豊かな社会性を備えた青少年の育成を目指し、青少年育成団体による活動を促進するとともに、青少年の非行防止対策の強化などを進めます。

施策の体系

(1) 地域と行政が一体となった青少年健全育成活動	(2) 青少年に対する町民意識の向上
---------------------------	--------------------

10年後の姿

- 啓発活動などの青少年健全育成活動を、区・自治会と町が合同で行い、町全体が同じ意識を持って行動しています。

目標指標

指標名	単位	現状値	目標値	
			H27年	H32年
青少年の健全育成に満足している町民の割合	%	10.3	16.0	21.0
地区と行政が合同で行う青少年健全育成活動地区数	地区	0	3	6

協働によるまちづくりの考え方

- 各区・自治会の活動を行政がサポートすることにより、地域で青少年を見守るという意識を持てるようになります。

用語解説

注¹学校評議員制度：地域社会に開かれた学校づくりを一層推進していくため、保護者や地域住民などの相互の意思疎通や協力関係を高めるための制度。

注²学校ボランティア登録制度：予め登録した保護者や地域住民などが、教育活動支援、教師の補助、環境整備支援、学校安全支援など幅広い分野で、学校教育を支援する制度。

注³総合型地域スポーツクラブ：複数のスポーツメニューを提供し、世代や年代に関わらず、初級から上級まで対応できる自立型のスポーツクラブ。